



2021年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年9月9日

上場会社名 株式会社ハウテレビジョン 上場取引所 東
 コード番号 7064 URL <https://howtelevision.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 音成 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西塚 慎太郎 TEL 03(6427)2862
 四半期報告書提出予定日 2020年9月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第2四半期の業績 (2020年2月1日~2020年7月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	443	△2.0	△42	—	△43	—	△51	—
2020年1月期第2四半期	451	—	82	—	72	—	40	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	△40.33	—
2020年1月期第2四半期	35.54	34.24

(注) 1. 2019年1月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年1月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2019年4月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2020年1月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2020年1月期第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第2四半期	1,029	480	46.5
2020年1月期	637	490	76.9

(参考) 自己資本 2021年1月期第2四半期 479百万円 2020年1月期 490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年1月期	—	0.00	—	—	—
2021年1月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	971	16.7	△367	—	△370	—	△370	—	△291.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年1月期2Q	1,290,800株	2020年1月期	1,267,900株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年1月期2Q	—株	2020年1月期	—株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年1月期2Q	1,273,687株	2020年1月期2Q	1,140,308株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実施的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社はキャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

当社の事業領域である人材・就職支援業界においては、2020年6月の有効求人倍率が1.11倍（前年同月は1.61倍。厚生労働省調査）、完全失業率が2.8%（前年同月は2.5%。総務省統計局調査）を記録しており、首都圏を中心に依然として労働者有利の状況であるように見受けられるものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い各種指標が急速に悪化している状況にあります。また、株式会社リクルートキャリアが発表している「就職プロセス調査（2021年卒）」においては、2021年3月大学等卒業予定者の就職内定状況は、当該大学等卒業予定者の就職内定率が81.2%（2020年8月1日現在）と、前年同期よりも10ポイント程度低い水準で推移しております。一方、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的な規模での景気後退懸念や「新しい生活様式」の提唱などにより、市場全体の雇用環境や企業の採用戦略は今後大きく変容していく可能性があります。

当社は、このような事業環境の中で、当事業年度を初年度とする3年間の中期経営計画に基づき、引き続き事業を推進・展開しております。既存事業であるキャリアプラットフォーム事業においては、顧客が企業ブランディングを展開することができ、学生・社会人を採用できる継続利用型「リクルーティング一括化サービス」の提供等により堅実的な成長を見込みます。また、新規事業として、キャリアに限らず「あらゆる」課題を解決する「知見共有プラットフォーム」の構築を構想し、非線形の事業成長を目指します。

また、当社は当事業年度を中期経営計画上の投資フェーズと位置づけており、積極的な投資活動を実施しております。当該投資活動を推進するため、金融機関からの借入により330百万円の資金調達を実施し、事業や人材への投資を実行してまいりました。当第2四半期会計期間においては、中期経営計画上の事業規模の拡大を想定し、新オフィスへの移転をいたしました。当期は今後も引き続き積極的な投資活動を継続していく方針であります。

当第2四半期会計期間末現在の「外資就活ドットコム」の学生の登録会員数は累計249,867人（前期末比37,831人増）、当第2四半期累計期間における送客数^{注1}は194,808人（前年同期比13,894人増）、DAU^{注2}数は5,301人（前年同期比1,261人増）となりました。

また、第2新卒市場を中心とした若手ハイクラス層をターゲットとしたリクルーティング・プラットフォーム「Liiga」の当第2四半期会計期間末における登録会員数は43,361人（前期末比10,166人増）、当第2四半期累計期間における月間平均MAU^{注3}数は4,854人（前年同期比2,131人増）、マッチング数は3,058人（前年同期比1,214人増）となりました。

なお、本社オフィス移転に伴い旧オフィスで使用していた固定資産につき除却を行ったこと等により、固定資産除却損5,860千円を特別損失に計上しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は443,022千円（前年同期比2.0%減）、営業損失は42,528千円（前年同期は営業利益82,147千円）、経常損失は43,644千円（前年同期は経常利益72,442千円）、四半期純損失は51,369千円（前年同期は四半期純利益40,525千円）となっております。

注1 送客：当社のサイトから、クライアントの採用ページまたは募集の応募フォームに送客した数を示しております。

注2 DAU：Daily Active Userの略称であり、1日当たりの当社サービスを利用したユーザーの数を示しております。

注3 MAU：Monthly Active Userの略称であり、1カ月の間に一度でも当社サービスを利用したユーザーの数を示しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より260,218千円増加し、703,315千円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加207,318千円であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より131,627千円増加し、326,457千円となりました。主な増加要因は、本社移転に伴う建物附属設備の購入等による有形固定資産の増加108,634千円及びソフトウェアの増加に伴う無形固定資産の増加23,992千円であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より277,146千円増加し、422,668千円となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加120,000千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加70,008千円並びに前受金の増加82,613千円であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より124,765千円増加し、126,839千円となりました。主な増加要因は長期借入金の増加115,267千円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より10,065千円減少し、480,264千円となりました。主な増減要因は、新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ20,098千円増加したこと並びに四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少51,369千円であります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ207,318千円増加し、594,230千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は43,678千円(前年同期は122,787千円の収入)となりました。主な収入要因は、減価償却費27,633千円、前受金の増加額82,613千円であり、主な支出要因は、税引前四半期純損失49,322千円、法人税等の支払額18,716千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は144,626千円(前年同期は15,136千円の支出)となりました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出102,679千円、無形固定資産の取得による支出37,288千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により得られた資金は308,266千円(前年同期は244,368千円の収入)となりました。収入要因は短期借入金の純増額120,000千円、長期借入れによる収入210,000千円であります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月期の通期の業績予想につきましては、2020年3月11日公表の「2020年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。

なお、現時点においては、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響は軽微であると判断しており、現在の業績予想にはその影響を織り込んでおりません。今後の動向を注視し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表をいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	386,911	594,230
売掛金	46,458	53,284
その他	9,900	56,000
貸倒引当金	△173	△199
流動資産合計	443,096	703,315
固定資産		
有形固定資産	30,896	139,531
無形固定資産	52,491	76,483
投資その他の資産		
敷金	110,441	110,241
その他	1,000	200
投資その他の資産合計	111,441	110,441
固定資産合計	194,829	326,457
資産合計	637,926	1,029,772
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,098	—
短期借入金	—	120,000
1年内返済予定の長期借入金	—	70,008
未払法人税等	25,189	5,130
前受金	63,371	145,985
その他	53,862	81,544
流動負債合計	145,522	422,668
固定負債		
長期借入金	—	115,267
資産除去債務	932	2,472
繰延税金負債	1,141	9,099
固定負債合計	2,074	126,839
負債合計	147,596	549,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,584	225,682
資本剰余金	201,584	221,682
利益剰余金	83,159	31,789
株主資本合計	490,329	479,155
新株予約権	—	1,108
純資産合計	490,329	480,264
負債純資産合計	637,926	1,029,772

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
売上高	451,962	443,022
売上原価	93,050	119,807
売上総利益	358,912	323,215
販売費及び一般管理費	276,765	365,744
営業利益又は営業損失(△)	82,147	△42,528
営業外収益		
受取利息	0	2
営業外収益合計	0	2
営業外費用		
支払利息	303	867
支払手数料	5,601	250
株式交付費	3,801	—
営業外費用合計	9,705	1,117
経常利益又は経常損失(△)	72,442	△43,644
特別利益		
固定資産売却益	—	181
特別利益合計	—	181
特別損失		
固定資産除却損	—	5,860
特別損失合計	—	5,860
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	72,442	△49,322
法人税、住民税及び事業税	32,602	716
法人税等調整額	△685	1,330
法人税等合計	31,917	2,047
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,525	△51,369

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	72,442	△49,322
減価償却費	12,705	27,633
株式報酬費用	—	2,902
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	25
受取利息	△0	△2
支払利息	303	867
固定資産売却益	—	△181
固定資産除却損	—	5,860
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,951	△6,727
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,749	△993
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,765	△3,098
前受金の増減額 (△は減少)	61,394	82,613
その他	△3,936	3,682
小計	138,972	63,259
利息の受取額	0	2
利息の支払額	△303	△867
法人税等の支払額	△15,882	△18,716
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,787	43,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,579	△102,679
有形固定資産の売却による収入	—	181
無形固定資産の取得による支出	△12,286	△37,288
資産除去債務の履行による支出	—	△4,840
敷金の差入による支出	△1,269	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,136	△144,626
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	120,000
長期借入れによる収入	—	210,000
長期借入金の返済による支出	—	△24,725
株式の発行による収入	294,368	2,735
新株予約権の発行による収入	—	256
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,368	308,266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	352,019	207,318
現金及び現金同等物の期首残高	180,671	386,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	532,691	594,230

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)

当社は、キャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

当社は、キャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。